

取扱説明書

工事説明付き

システムコントローラー

品番 WV-CU360C



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- このたびは、システムコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

- PS・Data (Panasonic Security・Data) モードおよびターミナルモードに対応したシステムコントローラーです。
- PS・Data モードまたはターミナルモード対応のシステム機器をコントロールできます。また、これらの機器に接続されているカメラを操作することもできます。
- 本機1台でPS・Data モード対応のシステム機器を複数台操作できます。また、本機は1システムに最大4台まで接続できるため、複数の地点から操作できます。

機能概要

本機には次に示す機能があります。

- **パスワードによる認証機能**
パスワードには管理者用パスワードとオペレーター用のパスワードがあります。
パスワードによって不正操作を防止できます。
- **PS・Data モード対応システム機器の操作**
PS・Data モード対応のシステム機器を番号（またはユニットアドレス）で選択、操作できます。また、システム機器の設定メニューを呼び出して設定することもできます。
- **ターミナルモード対応システム機器の操作**
ターミナルモード対応のシステム機器の各種機能を実行できます。
- **カメラ機能の操作**
 - 回転台やコンビネーションカメラのパン、チルトを操作できます。
 - アイリスやズームなどの調節ができます。
 - カメラの設定メニューを呼び出し、カメラをセットアップすることができます。
 - ワイパーやデフロスターなどの外部機器を操作できます。
- **アラームの解除・抑止**
センサーやカメラサイトからのアラームを解除できます。セットアップ中などアラーム入力を一時中断したいときなど、アラームの入力を抑止することもできます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1	ACアダプター.....	1
保証書.....	1	モジュラーケーブル（約3 m）.....	1
		テンプレート（ターミナルモード用）.....	1

もくじ

商品概要	2	●カメラパトロール機能の操作	25
機能概要	2	●カラー映像を白黒映像に切り換える	26
付属品をご確認ください	2	●カメラクリーニング	26
安全上のご注意	4	●カメラ機能を実行する	27
操作上のお願い	6	カメラハウジング、外部機器を操作する	28
ご使用になる前に	6	カメラハウジングを操作する	28
		●デフロスターの操作	28
		●ワイパーの操作	28
		外部機器を操作する	29
各部の名前と働き	7	アラームを操作する	30
表示・ディスプレイ部	7	アラーム発生時の動作	30
設定・機能操作部	8	アラームを解除する	30
アラーム操作部	8	アラームを抑止する	31
カメラコントロール・システム機器選択部	9	アラーム履歴を確認する	31
システム機器・コンビネーションカメラ操作部	10	セットアップのしかた	32
テンキー部	11	本機のセットアップ手順	32
操作を始める前に	12	テンプレートを確認する	32
電源の入れかた、切りかた	12	MODEスイッチを設定する	33
基本的な操作の流れ	12	●終端ON/OFFを設定する	33
操作を開始する(ログイン)	13	●動作モードを設定する	33
操作を終了する(ログアウト)	13	●システム機器として同軸通信ユニットだけを 使用する場合	34
操作する機器を選択する	14	コントローラー番号を設定する	34
システム機器を選択する	14	本機のセットアップメニューを表示・設定する	35
●ユニットアドレスを入力して選択する	14	●基本操作	36
● <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で選択する	15	●セットアップ項目一覧	37
		●セットアップする	38
モニターを選択する	16	システム機器をセットアップする	40
カメラを選択する	17	カメラをセットアップする	41
システム機器を操作する	18	カメラのセットアップのしかた	41
画面を分割する	18	カメラパトロールの動作を記録する	42
画像を静止画にする	18	プリセットポジションを設定する	43
電子ズームで画像を拡大する	19	工事説明	44
ビデオの再生画を表示する	20	各部の名前と働き(後面)	44
シーケンスを実行する	20	接続のしかた	45
システム機能を実行する	21	システム機器として同軸通信ユニットだけを 使用する場合	46
カメラを操作する	22	仕様	47
パン・チルトの操作	22	●データ端子の仕様	47
レンズの操作	22	●定格	47
●アイリス(絞り)の調節	22	索引	48
●フォーカス(ピント)の調節	23	保証とアフターサービス	49
●ズームの調節	23		
コンビネーションカメラ固有機能の操作	24		
●プリセットポジションの映像に切り換える	24		
●ホームポジションの映像に切り換える	24		
●オートパンを使用する	25		

はじめに

各部の名前

操作を
始める前に

機器の選択

システム機器
の操作

カメラ・カメラハウジング・
外部機器の操作

アラームの操作

セットアップ



工事説明・
仕様

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

- 乾いた布で手をふいてください。

**ACアダプターは、必ず
本体を持って抜く**

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・ACアダプターを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやACアダプターの修理は販売店にご相談ください。

**ACアダプターは根元まで
確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

**ACアダプターのほこり等
は定期的にとる**

ACアダプターにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

**コンセントや配線器具の定
格を超える使いかたや、交流
100V以外での使用はしない**

たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

⚠注意**落とさない、強い衝撃を
与えない**

けがや火災の原因となります。

禁止

**湿気やほこりの多い場所に
設置しない**

火災や感電の原因となります。

禁止

**指定以外の装置を
接続しない**

けがなどの原因になることがあります。

禁止

操作上のお願い

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

- 付属のACアダプター以外の電源は使用しないでください。
故障や感電の原因となります。
- 直射日光の当たる場所での使用は避けてください。
高温下での使用は避けてください。
- ていねいにお取り扱いください。
落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。
- 使用温度範囲をお守りください。
-10℃以下の寒いところや、+50℃以上の暑いところで使用しないでください。
- 厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- お手入れについて
ACアダプターを電源コンセントから抜いてから乾いた布でふいてください。
ほこりがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってご使用ください。
- 表示について
本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

ご使用になる前に

本機には、PS・Dataモードとターミナルモードの2つの動作モードがあります。

出荷時はPS・Dataモードに設定されています。

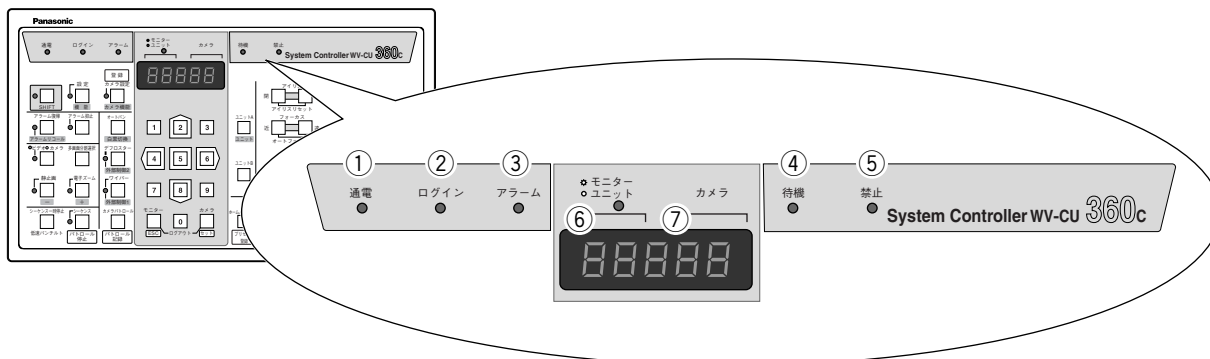
本書ではPS・Dataモードで使用する場合の操作方法を説明しています。

ターミナルモードで使用する場合は、前面のテンプレートの付け替えと後面のMODEスイッチの設定が必要です（32、33ページ）。

また、接続方法、操作方法については接続するシステム機器の取扱説明書をお読みください。

各部の名前と働き

表示・ディスプレイ部



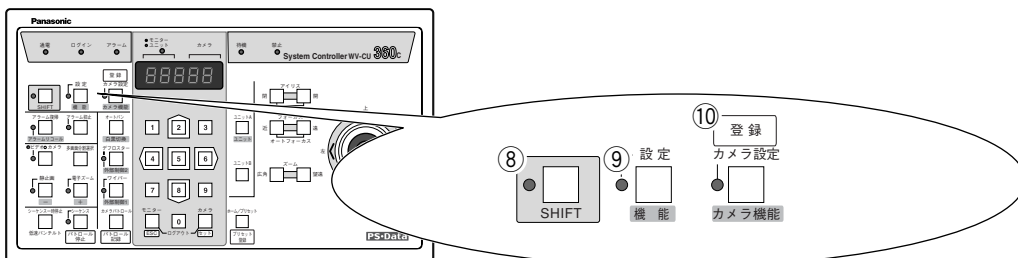
- ①通電表示 [通電]
電源が入っているときに点灯します。
- ②ログイン表示 [ログイン]
ログインが完了すると点灯します。
- ③アラーム表示 [アラーム]
アラームが発生したときに点滅します。
アラームが自動的に解除されると点灯に変わります。
- ④待機表示 [待機]
選択した機器が他のコントローラーで使用中のときに点灯します（待機表示対応のシステム機器と接続した場合）。
- ⑤禁止表示 [禁止]
操作権限のない機器を選択したり、禁止されている操作を行うと点灯します。
- ⑥モニター番号表示／ユニット番号表示 [*モニター／○ユニット]
ディスプレイの上にある表示灯が点灯しているときは、現在選択しているモニターの番号を表示します。ディスプレイの上にある表示灯が消灯しているときは、システム機器の番号（ユニットアドレス）を表示します。
- ⑦カメラ番号表示 [カメラ]
現在選択しているカメラの番号を表示します。

本書での表示のしかた

本書では各種表示灯の点灯を表すときは○で、消灯を表すときは●で表記しています。

各部の名前と働き

設定・機能操作部



⑧SHIFT ボタン [SHIFT]

SHIFT ボタンは [設定] 部の機能を操作するときに使います。SHIFT ボタン設定中はボタンの左側にある表示灯が点灯します。

⑨設定ボタン / 機能 ボタン [設定 / 機能]

このボタンはシステム機器のセットアップやシステム機器の機能を実行するときに使います。セットアップ中はボタンの左側にある表示灯が点灯します。

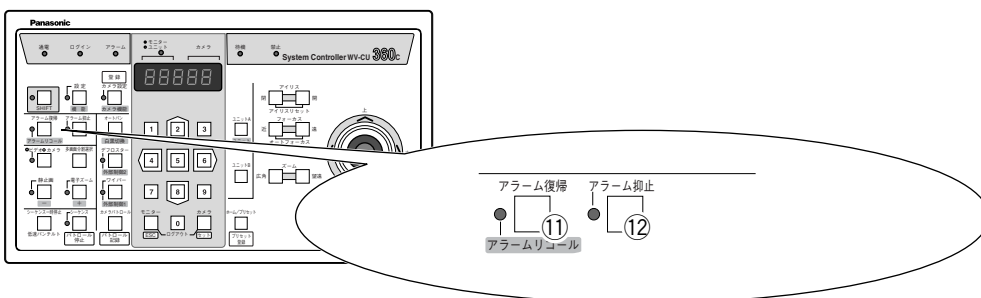
⑩登録 ボタン / カメラ設定ボタン / カメラ機能 ボタン

[登録 / カメラ設定 / カメラ機能]

このボタンはカメラのセットアップやカメラの機能 (カメラ機能) を実行するときに使います。セットアップ中はボタンの左側にある表示灯が点灯します。

また、カメラを操作しているときにプリセットポジションやカメラパトロールを登録するときにも使います。

アラーム操作部



⑪アラーム復帰ボタン / アラームリコール ボタン

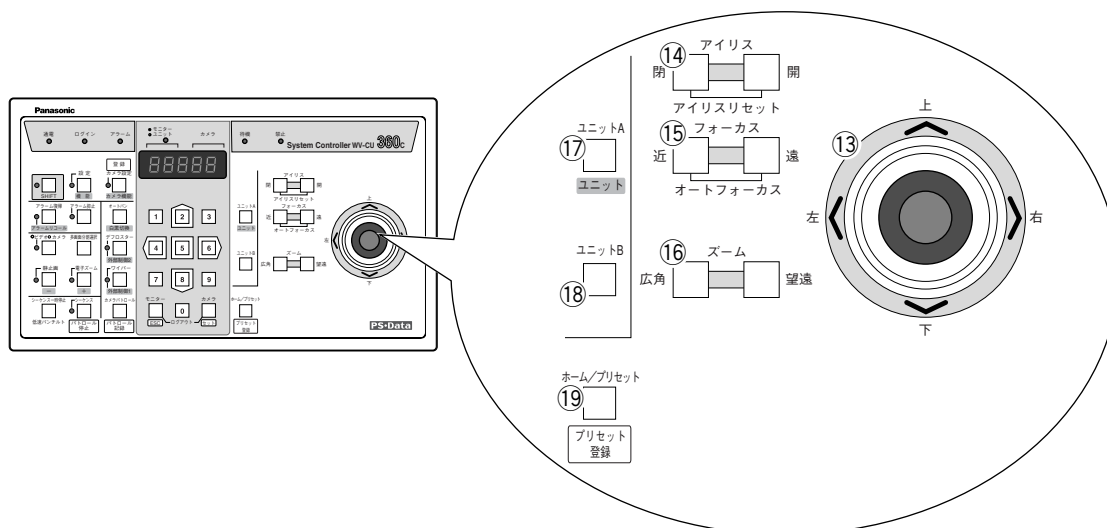
[アラーム復帰 / アラームリコール]

アラームの解除や過去に入力されたアラームを確認 (アラームリコール) するときに使います。アラームリコール実行中はボタンの左側にある表示灯が点灯します。

⑫アラーム抑止ボタン [アラーム抑止]

アラームの入力を抑止するときに使います。アラーム入力の抑止中はボタンの左側にある表示灯が点灯します。

カメラコントロール・システム機器選択部



⑬ ジョイスティック [上/下/左/右]

コンビネーションカメラや回転台をパン/チルトするときに使います。

⑭ アイリスボタン [アイリス 閉/開]

カメラの絞りを調節するときに使います。閉/開ボタンを同時に押すと、カメラの絞りをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

⑮ フォーカスボタン [フォーカス 近/遠]

カメラのピントを調節するときに使います。近/遠ボタンを同時に押すとカメラのオートフォーカス機能を使用することができます。

⑯ ズームボタン [ズーム 広角/望遠]

カメラのズームを調節するときに使います。

⑰ ユニットAボタン / ユニットボタン [ユニットA / ユニット]

このボタンに割り当てられている機器の選択や、ユニットアドレスを確認するときに使います。

1～9の数字を入力してからこのボタンを押すと、番号に設定されている機器を選択できます (番号と機器との対応はセットアップメニューで行います)。1番に設定されている機器は、このボタンを押すだけで選択できます。ユニットアドレスを直接入力して機器を選択するときにも使います。

⑱ ユニットBボタン [ユニットB]

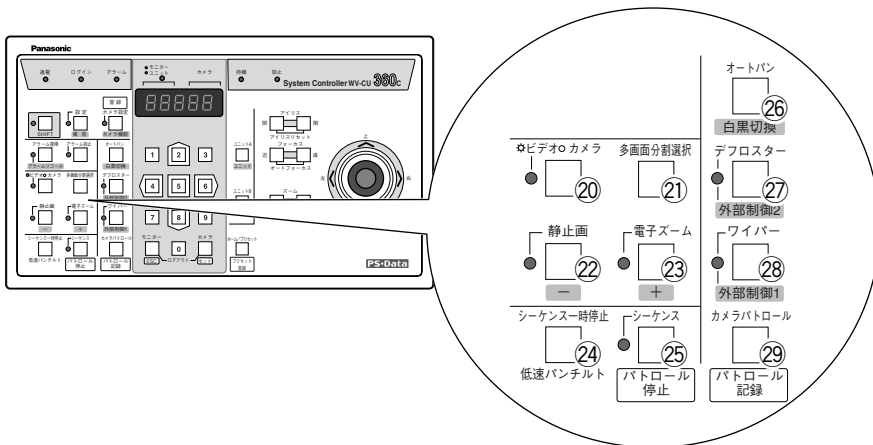
このボタンに割り当てられている機器を選択するときに使います。1～9の数字を入力してからこのボタンを押すと、番号に設定されている機器を選択できます (番号と機器との対応はセットアップメニューで行います)。1番に設定されている機器は、このボタンを押すだけで選択できます。

⑲ ホーム/プリセットボタン / プリセット登録ボタン [ホーム / プリセット登録]

コンビネーションカメラの撮影位置をホームポジションに戻るときやプリセットポジションに移動するときに使います。プリセットポジションに移動するときはテンキーでプリセットポジション番号を入力してからこのボタンを押します。プリセットポジションを登録するときにも使います。

各部の名前と働き

システム機器・コンビネーションカメラ操作部



- ⑳ビデオ／カメラ映像切換ボタン [＊ビデオ ○カメラ]
ビデオの再生画を確認するときに使います。ビデオ再生画の確認中はボタンの左側にある表示灯が点灯します。
- ㉑多画面分割選択ボタン [多画面分割選択]
画面を分割して1台のモニターに複数のカメラ映像を同時に表示するときに使います。
- ㉒静止画ボタン／**—** ボタン [静止画／**—**]
選択しているモニターの画像を静止画に切り換えるときに使います。または1つ小さい番号のカメラに切り換えるときに使います。
- ㉓電子ズームボタン／**+** ボタン [電子ズーム／**+**]
選択しているモニターの画像を拡大するときに使います。または1つ大きい番号のカメラに切り換えるときに使います。
- ㉔シーケンス一時停止ボタン／低速パンチルトボタン
[シーケンス一時停止／低速パンチルト]
シーケンス動作を一時停止するときに使います。
コンビネーションカメラや回転台を操作しているときは、パン・チルトの動作速度を低速にします。
- ㉕シーケンスボタン／**パトロール停止** ボタン
[シーケンス／**パトロール停止**]
シーケンス機能を実行するときに使います。またはカメラパトロールを停止するときに使います。パトロールの記録を停止するときにも使います。

②⑥ オートパンボタン／白黒切換 ボタン

[オートパン／白黒切換]

コンビネーションカメラのオートパン機能を実行するときや、カメラ映像を白黒に切り換えるときに使います。

②⑦ デフロスターボタン／外部制御2 ボタン [デフロスター／外部制御2]

カメラハウジングのデフロスターをON／OFFにするときに使います。または外部制御2をON／OFFにするときに使います。

デフロスターまたは外部制御2がONのときはボタンの左側にある表示灯が点灯します。

②⑧ ワイパーボタン／外部制御1 ボタン [デフロスター／外部制御1]

カメラハウジングのワイパーをON／OFFにするときに使います。または外部制御1をON／OFFにするときに使います。

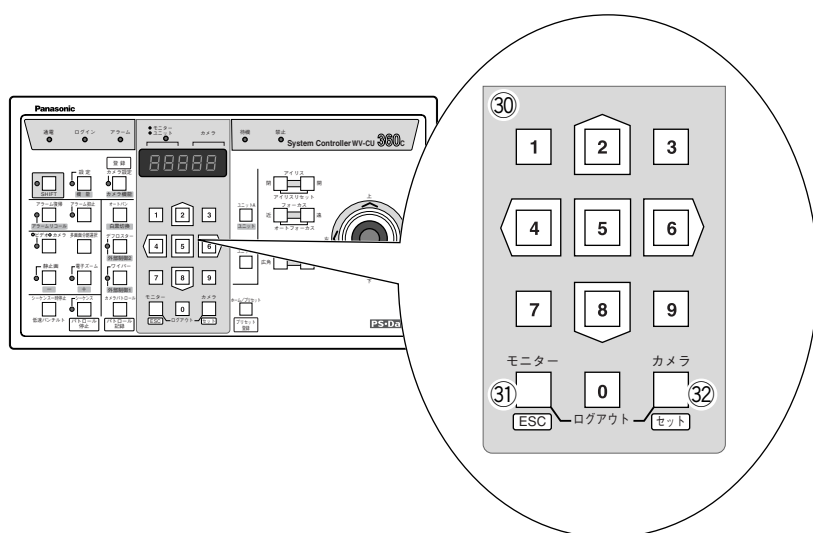
ワイパーまたは外部制御1がONのときはボタンの左側にある表示灯が点灯します。

②⑨ カメラパトロールボタン／パトロール記録 ボタン

[カメラパトロール／パトロール記録]

コンビネーションカメラのカメラパトロール機能を実行するときやパトロールを記録するときに使います。

テンキー部



③⑩ テンキー

カメラ番号、モニター番号、ユニットアドレスなど、数字を入力するときに使います。

③⑪ モニターボタン／ESC ボタン

[モニター／ESC]

モニターの選択やモニター番号の確認するときに使います。選択したいモニターの番号をテンキーで入力してからこのボタンを押すとモニターを選択できます。このボタンだけを押しとモニター番号（またはユニット番号）を確認できます。

③⑫ カメラボタン／セット ボタン

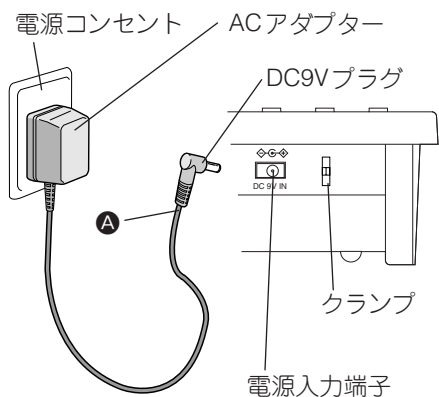
[カメラ／セット]

テンキーと組み合わせて操作するカメラを選択するときに使います。

操作を始める前に

システムの構成をご確認の上、操作してください。システムの構成によっては操作できない機能があります。

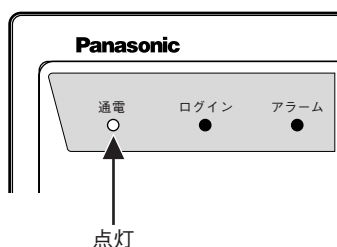
電源の入れかた、切りかた



1 付属のACアダプターを電源コンセント（AC100V）に差し込みDC9Vプラグを背面の電源入力端子に接続する。電源が入ると **通電** が点灯します。

DC9Vプラグの **A** の部分はクランプに差し込んでください。

2 電源を切るときはログアウト操作を行ってから、ACアダプターを電源コンセントから抜く。

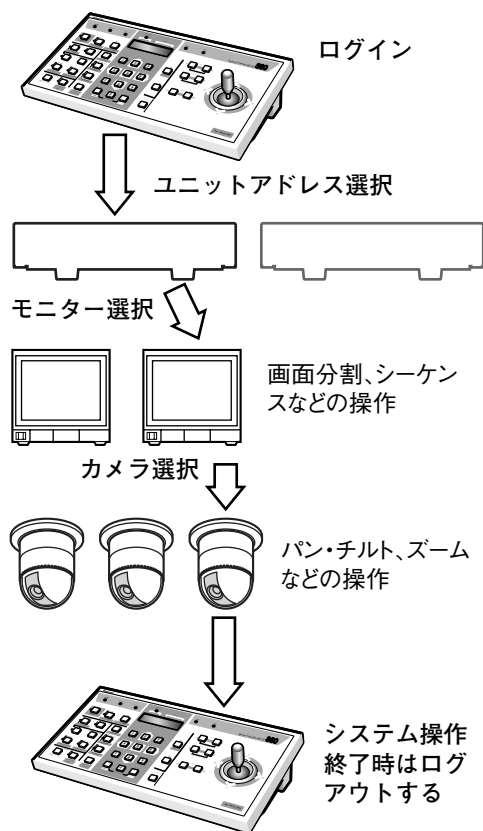
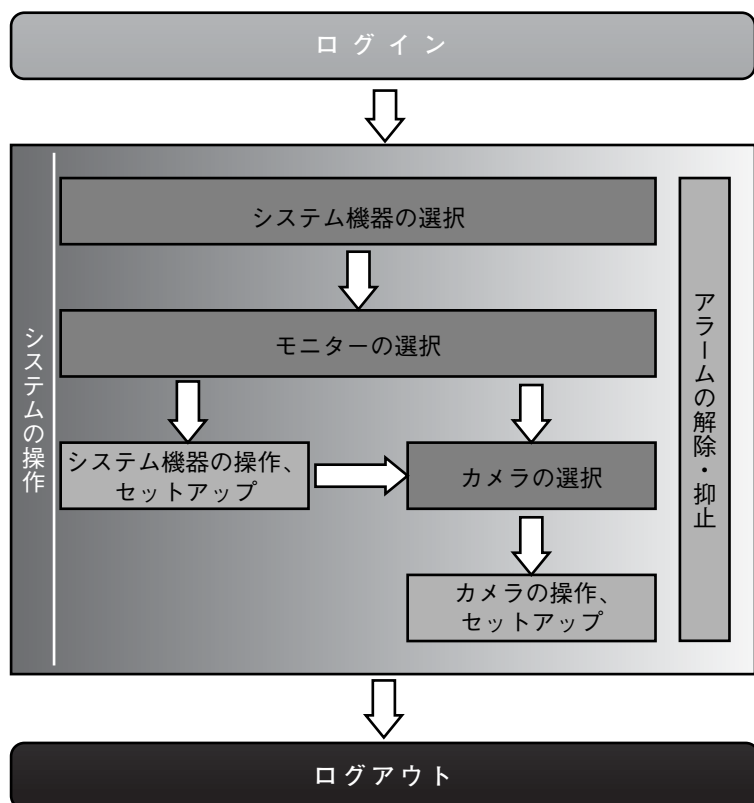


長期間使用しないときは

ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

本機背面の電源入力端子からDC9Vプラグを抜いても、電源コンセントにACアダプターが接続されていると、ACアダプターで電気を消費しています。

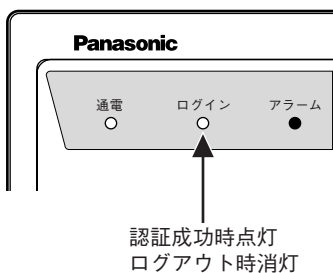
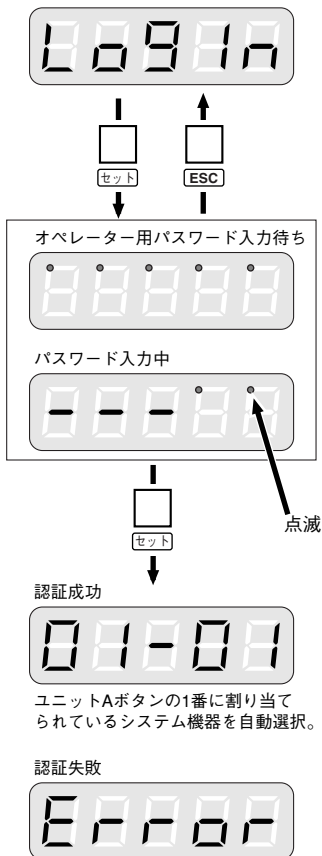
基本的な操作の流れ



操作を開始する (ログイン)

操作を始めるにはパスワードによるユーザー認証を行う必要があります。

ただし、認証方式設定で「ユーザーチェックなし」に設定しているときは電源が入ると自動的に操作可能状態になりますので、この操作を行う必要はありません。



1 電源を接続する。

ディスプレイにコントローラー番号、バージョン情報が表示された後、“LogIn”と表示されます。

2

カメラ を押してから、パスワードを入力し、再度 を押す。

パスワード (5けた) はテンキーで入力します。入力したパスワードは“-”で表示されます。正しいパスワードを入力すると「ログイン」が点灯し、ユニットAボタンの1番に割り当てられているシステム機器が自動的に選択されます。パスワードを間違えるとディスプレイに“Error”と表示された後、“LogIn”の表示に戻ります。

パスワードについて

パスワードには管理者用パスワードとオペレーター用のパスワードがあります。操作を行うときはオペレーター用のパスワードを使用します。パスワードはセットアップメニューで変更できます (32～39ページをお読みください)。

操作を終了する (ログアウト)

1

操作を終わるときは モニター ログアウト カメラ を同時に2秒以上押して、ログアウトする。ログアウトが完了するとディスプレイに“LogIn”と表示され、「ログイン」が消灯します。

2

電源を切断する。

ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

アラームについて

ログアウト後も電源が接続されている場合、アラーム表示やアラーム抑止表示は現在のシステム状態を表示し続けます。ログアウト後に新たにアラームが発生するとアラーム表示が点滅 (自動復帰時は点灯) します。

● または で選択する

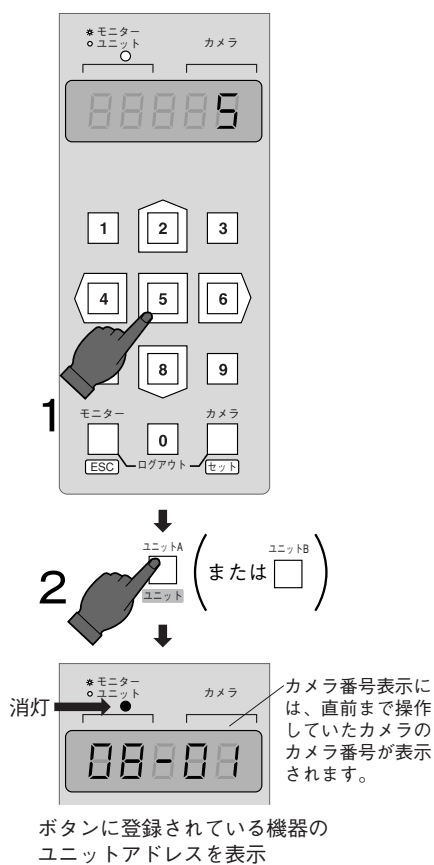
ユニットA
ユニット

ユニットA
ユニット

または に、よく使うシステム機器を各9台まで割り当てることができます。

お買い上げ時、ユニットアドレスが1番の機器はこれらのボタンのどちらかを押すだけで選択できます。

各ボタンにどのシステム機器を割り当てるかは、ユニットAボタン設定メニューまたはユニットBボタン設定メニューで行います（38、39ページ）。



1 ボタン番号をテンキーで入力する。

例えば、 ボタンの5番に割り当てられているシステム機器を選択するときは を押します。

1番に割り当てられている機器を選択するときはこの操作は不要です。

2 を押す。

ディスプレイのユニット欄に選択したシステム機器のユニットアドレスが表示されます。これで、選択したシステム機器が操作可能になります。

カメラ番号表示欄には現在選択されているカメラの番号が表示されます。

操作を行う前に

の設定は解除してください。

ユニットAボタン／ユニットBボタンは

ボタンと機器の割り当てはセットアップメニューのユニットAボタン設定メニューまたはユニットBボタン設定メニューで行います。このボタンに使用頻度の高いシステム機器を割り当てることで、ユニットアドレスを意識せずにシステム機器を選択できます。

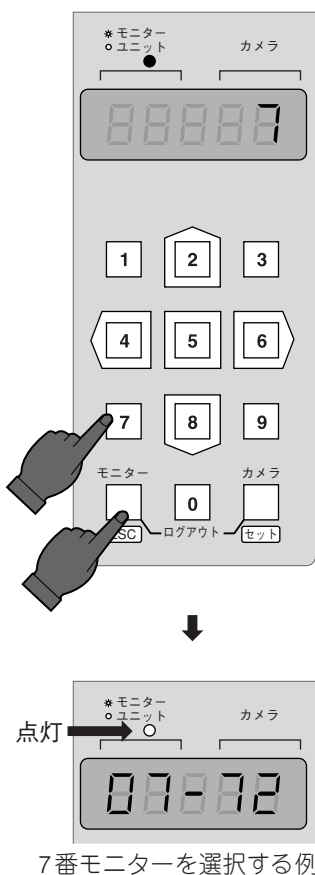
カメラ番号表示について

システムコントローラーのカメラ番号表示には、最後に選択したカメラのカメラ番号が表示されます。このため、システム機器の選択操作だけ行くと、モニターに表示されているカメラのカメラ番号と異なる番号が表示されることがあります。

操作する機器を選択する

モニターを選択する

システム機器には複数のモニターを接続でき、画像を操作するモニターを自由に選択できる機種があります。ここではモニターを選択のしかたについて説明します。選択したモニター上で映像切替や電子ズームなどの操作ができます。



7番モニターを選択する例

1 操作したいモニターが接続されているシステム機器を選択する。

2 操作したいモニターの番号（モニター番号）をテンキーで入力する。

入力した内容はディスプレイに表示されます。なお、モニター番号はシステム機器ごとに設定されています。詳しくはお使いになるシステム機器の取扱説明書をお読みください。

3 モニター
 ESC を押す。

ディスプレイのモニター欄に選択したモニター番号が表示されます。以後、選択したモニターで映像切替などの操作ができます。

カメラ番号表示欄には現在選択されているカメラの番号が表示されます。

ディスプレイのモニター番号表示欄に「—」が表示される

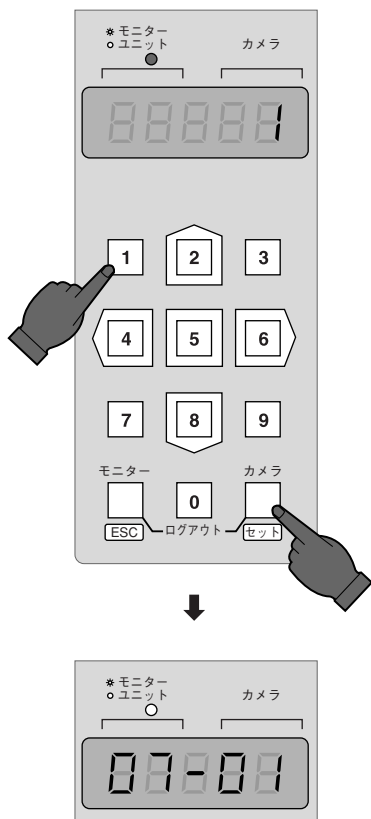
選択したシステム機器がモニター選択に対応していないため、この操作はできません。詳しくは使用するシステム機器の取扱説明書をお読みください。

モニター番号の確認は

- ディスプレイにユニットアドレスが表示されているときは、手順**3**を行うと選択されているモニターのモニター番号を確認できます。押すたびにユニット番号表示↔モニター番号表示に切り換わります。
- 入力したモニター番号が選択中のユニットに存在しない場合、操作は無視されます。モニター番号を確認の上、再度操作してください。なお、操作したいモニターのモニター番号が分からないときは管理者にご確認ください。

カメラを選択する

ここでは、カメラの選択のしかたについて説明します。カメラを選択する前に、カメラが接続されているシステム機器と操作内容を表示するモニターを選択する必要があります（14～16ページをお読みください）。



1番カメラを選択する例

1 操作したいカメラの映像を表示するモニターを選択する。

2 操作したいカメラの番号（カメラ番号）をテンキーで入力する。

入力したカメラ番号はディスプレイに表示されます。なお、カメラ番号はシステム機器ごとに設定されています。詳しくはお使いになるシステム機器の取扱説明書をお読みください。

3 を押す。
カメラ
セット

選択したカメラの映像がモニターに表示されます。

カメラ選択後、パン・チルトやフォーカスなどの操作ができます。操作を行うことができます。詳しくは22～28ページをお読みください。

ディスプレイのカメラ番号表示欄に「—」が表示される

次の操作を行っているときはカメラ番号表示欄に「—」が表示されます。

- アラーム発生時
- 多画面分割表示時
- シーケンス実行中

＋ボタンや－ボタンでカメラの切り換えができます

システム機器によっては以下の操作でカメラの切り換えができます。

- 設定後に を押すと、選択されているカメラよりも1つ大きいカメラ番号の映像に切り換えることができます。
- 設定後に を押すと、選択されているカメラよりも1つ小さいカメラ番号の映像に切り換えることができます。

システム機器として同軸通信ユニットだけ使用している場合

この場合、システム機器やモニターを選択する必要はありません。直接カメラ番号を入力してカメラを選択することができます。詳しくは、46ページをお読みください。

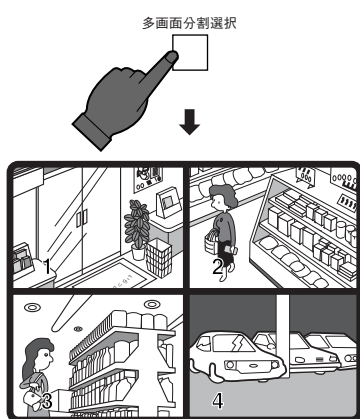
システム機器を操作する

ここではPS・Dataモード対応システム機器の操作方法を説明します。操作を始める前にシステム機器の設定が完了している必要があります。設定のしかたについてはシステム機器の取扱説明書をお読みください。また、本機からシステム機器を設定することもできます。詳しくは40ページをお読みください。

なお、PS・Dataモード対応のシステム機器以外は操作できません。また、操作方法はシステム機器によって異なる場合があります。


画面を分割する

画面分割機能のあるシステム機器（例えばフレームスイッチャーなど）が接続されているときに操作できます。



4分割画面例

1 システム機器、モニターを選択する。

2 多画面分割選択  を押す。

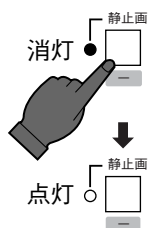
モニターの画面が分割表示されます。押すたびに画面の分割数が変わります。

画面の分割数は


画面の分割数は接続されているシステム機器によって異なります。詳しくはシステム機器の取扱説明書をお読みください。

画像を静止画にする


静止画機能のあるシステム機器が接続されているときに操作できます。




1 システム機器、モニターを選択する。

2  を押す。




ボタンの左側にある表示灯が点灯し画像が静止画に変わります。

静止画を解除するときは  を押します。

操作を行う前に

-  の設定は解除してください。

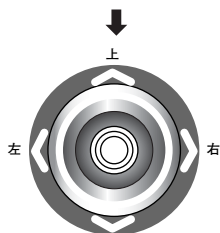
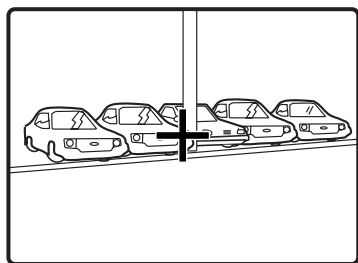
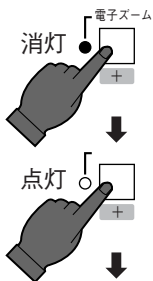
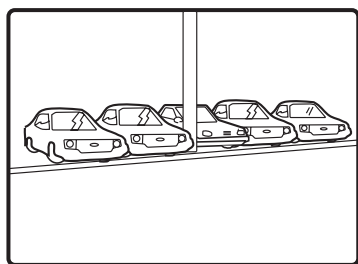
分割画面の画像を静止画にするには

- 特定の分割画像だけを静止画にするときはカメラ番号入力後  を押します。
- 全分割画面を静止画にするときは  を押してから  を押します。

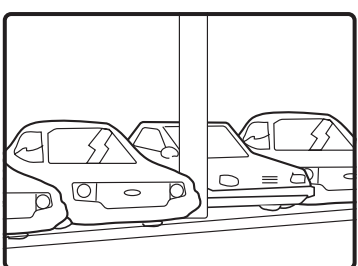
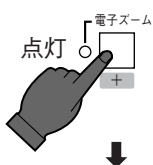
静止画を解除するときは再度同じ操作を行ってください。

電子ズームで画像を拡大する

電子ズーム機能のあるシステム機器が接続されているときに操作できます。



下 拡大したい位置に
十マークを移動する



1

システム機器、モニター、カメラを選択する。

2

電子ズーム
ボタンを押す。

電子ズームが設定されるとボタンの左側にある表示灯が点灯し、モニター中央に「+」マークが表示されます。

3

ジョイスティックで拡大したい位置に「+」マークを移動する。

4

再度
電子ズーム
ボタンを押す。

モニターの画像が拡大表示されます。ズーム中にジョイスティックを動かすと、拡大範囲を移動できます。

拡大表示を解除するときは再度
電子ズーム
ボタンを押します。解除されるとボタンの左側にある表示灯が消灯します。

操作を行う前に

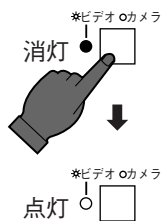


の設定は解除してください。

システム機器を操作する

ビデオの再生画を表示する

システム機器にビデオが接続されている場合で、ビデオ再生画切換機能があるシステム機器が接続されているときに操作できます。



表示灯が点滅するときは

ビデオに記録されている情報（チャンネル番号など）を正しく読みとれなかった場合、点滅してお知らせします。ビデオの早送り／巻き戻し中に、点滅することがあります。

1 システム機器、モニターを選択する。

2 *ビデオカメラのボタンを押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯し、ビデオの再生画がモニターに表示されます。

カメラ映像に戻すときは再度 *ビデオカメラのボタンを押します。

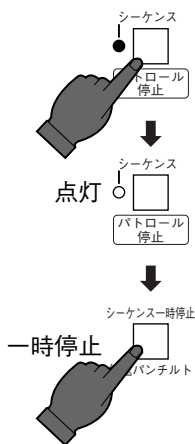
ボタンの左側にある表示灯が消灯し、カメラ映像がモニターに表示されます。

システム機器の設定は

システム機器に再生画の自動切換機能が設定されている場合、操作できません。本機で切り換えたいときはシステム機器の再生画自動切換機能の設定をOFFにしてください。

シーケンスを実行する

シーケンスとはシステム機器に登録されている順番に従い、カメラ映像を自動的に切り換えて監視する機能です。シーケンス機能があるシステム機器が接続されているときに操作できます。



1 システム機器、モニターを選択する。

2 シーケンスのボタンを押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯しシーケンスを開始します。シーケンスの一時停止機能に対応しているシステム機器を選択している場合、シーケンス一時停止のボタンを押すとシーケンスを一時停止できます。

一時停止を解除するときは、再度 シーケンスのボタンを押してください。

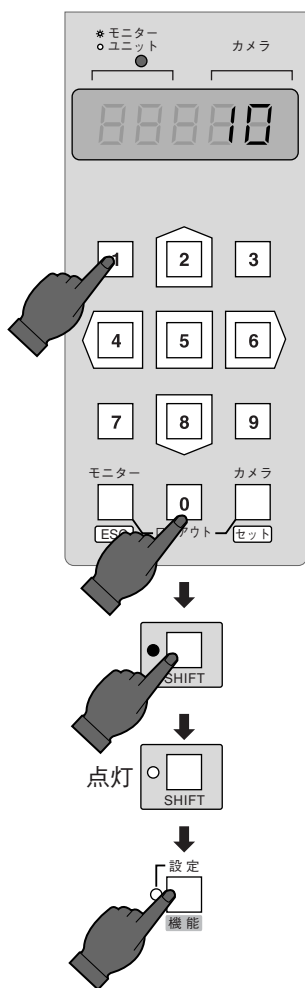
シーケンスを終了するときはカメラを選択します。

操作を行う前に

- システム機器のシーケンス機能を設定してください。

システム機能を実行する



本機からシステム機器の機能（システム機能）を番号で呼び出して操作できる機種があります。ここではシステム機能の基本的な実行方法について説明します。詳しくはお使いになるシステム機器の取扱説明書をお読みください。



1 システム機器、モニターを選択する。

2 システム機能番号をテンキーで入力する。

例えば、10番に割り当てられているシステム機能を実行する場合、**1** **0** と入力します。

3  を設定後、 を押す。

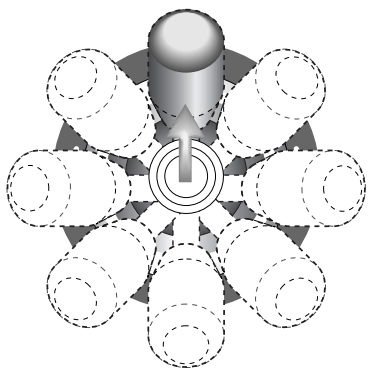
入力した番号に対応したシステム機能が動作します。

カメラを操作する

ここではカメラの操作のしかたについて説明します。使用するカメラによっては操作を始める前に設定が必要な場合があります。設定のしかたについてはカメラの取扱説明書をお読みください。また、システム運用中に本機からカメラのメニューを呼び出し、設定することもできます。詳しくは41～43ページをお読みください。

パン・チルトの操作

回転台やコンビネーションカメラがシステム機器に接続されているときに操作できます。



ジョイスティック

1
2

1 システム機器、モニター選択後、操作するカメラを選択する。

2 ジョイスティックを動かし、カメラ（または回転台）を旋回する。

カメラ（または回転台）を動かすことができます。

シーケンス一時停止



低速パンチルト

を押しながらジョイスティックを動かすと、ボタンを押し続けている間、旋回動作が低速になります。

シーケンス一時停止

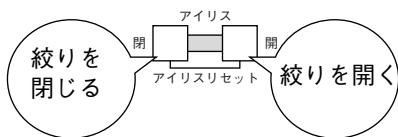


なお、低速パンチルトを使用できないコンビネーションカメラもあります。お使いになるコンビネーションカメラの機能をお確かめください。

レンズの操作

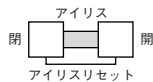
●アイリス（絞り）の調節

カメラに絞り調節可能なレンズが取り付けられているときに操作できます。



1
2

1 システム機器、モニター選択後、操作するカメラを選択する。



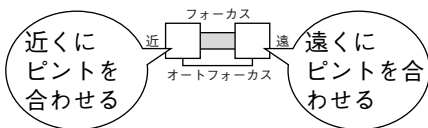
アイリス
絞りを調節する。

絞りを元の状態に戻すには

アイリスをお買い上げ時の状態に戻すときは 閉 アイリスリセット 開 を同時に押します。

●フォーカス（ピント）の調節

カメラにピント調節可能なレンズが取り付けられているときに操作できます。



1
2

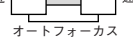
システム機器、モニター選択後、操作するカメラを選択する。

フォーカス
近 オートフォーカス 遠
でピントを調節する。

オートフォーカスでピントを合わせるには

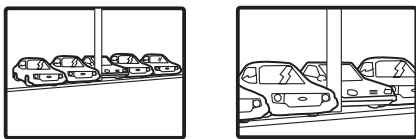
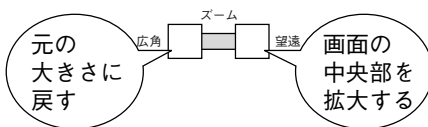
オートフォーカスは画面の中央にある被写体にピントを合わせます。

オートフォーカスにするには、近 フォーカス 遠 を同時に押します。



●ズームの調節

カメラに電動ズームレンズが取り付けられているときに操作できます。



1
2

システム機器、モニター選択後、操作するカメラを選択する。

広角 ズーム 望遠
でズームを操作する。

なお、倍率はカメラに取り付けられているレンズによって異なります。

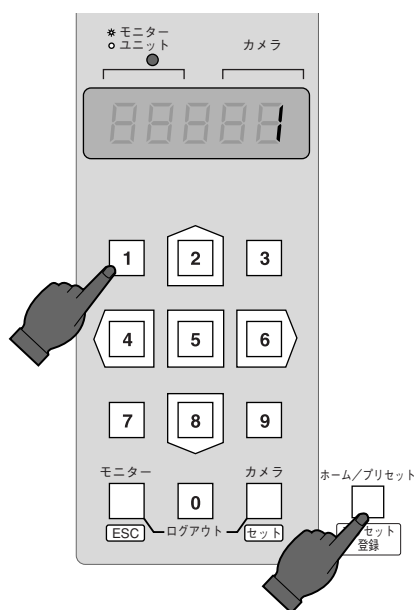
カメラを操作する

コンビネーションカメラ固有機能の操作

ここではコンビネーションカメラ固有機能の操作のしかたについて説明します。操作を始める前にコンビネーションカメラの設定が完了している必要があります。設定のしかたについてはコンビネーションカメラの取扱説明書をお読みください。また、本機からコンビネーションカメラを設定することもできます。詳しくは41～43ページをお読みください。

●プリセットポジションの映像に切り換える

プリセット機能とは監視場所に番号を付けてカメラに登録しておくことによって、システムコントローラーから登録した番号を入力するだけで番号に対応した位置にカメラを旋回する機能です。この操作を行うためには、あらかじめプリセットポジションをコンビネーションカメラに登録しておく必要があります。



プリセット番号1を選択する例

1
2

1 システム機器、モニター選択後、コンビネーションカメラを選択する。

2 テンキーでプリセット番号を入力後、



登録されているプリセットポジションにカメラが動作し、その位置の映像がモニターに表示されます。

●ホームポジションの映像に切り換える

ホームポジションとは監視時に基点となるプリセットポジションのことです。この操作を行うためには、あらかじめホームポジションとするプリセットポジションをコンビネーションカメラに登録しておく必要があります。



1
2

1 システム機器、モニター選択後、コンビネーションカメラを選択する。

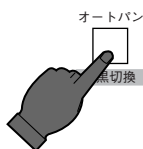
2 テンキーでプリセット番号を入力後、




登録されているホームポジションにカメラが動作し、その位置の映像がモニターに表示されます。

●オートパンを使用する

あらかじめ、オートパン機能をコンビネーションカメラに設定しておく必要があります。コンビネーションカメラに登録されている内容に従って自動的に旋回動作を行います。



操作を行う前に

-  の設定は解除してください。

1 システム機器、モニター選択後、コンビネーションカメラを選択する。





2  を押す。

コンビネーションカメラに登録されている内容に従って自動的に旋回し、映像をモニターに表示します。

ジョイスティックでパン・チルト操作を行うとオートパンを終了します。テンキーとの組み合わせで他の機能を実行できます。

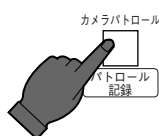
テンキーとオートパンボタンとの組み合わせで実行できる機能

使用するコンビネーションカメラによっては次の機能を実行できます。

- **1** を押してから  → オートパン (またはカメラで設定した機能)
- **3** を押してから  → オートシーケンス
- **2** を押してから  → オートソート
- **4** を押してから  → ランダムパン

●カメラパトロール機能の操作

カメラパトロールとはジョイスティックやズーム操作などの操作内容をコンビネーションカメラに記憶させ、実行する機能です。この機能はカメラパトロール機能のあるコンビネーションカメラが接続されているときに使用できます。



カメラパトロール開始

カメラパトロール動作の登録は

カメラパトロールの動作は本機でコンビネーションカメラに覚えさせることができます。詳しくは42ページをお読みください。

1 コンビネーションカメラを選択する。

2  を押す。

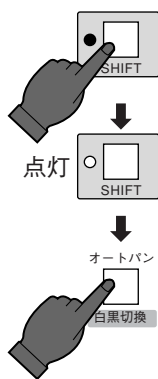
コンビネーションカメラに登録されている内容に従ってカメラが動作し、映像がモニターに表示されます。

ジョイスティックを操作するとカメラパトロールは自動的に停止します。

カメラを操作する

●カラー映像を白黒映像に切り換える



カラー／白黒切換機能のあるコンビネーションカメラが接続されているときに操作できます。暗い場所で撮影する場合、白黒映像に切り換えることによって感度を上げ、モニターの画像を見やすくできます。



1 システム機器、モニター選択後、コンビネーションカメラを選択する。

2  を設定後、 を押す。

カラー映像が白黒で表示されます。

3 カラー映像に戻すときは  を設定後、 を押す。

カラー映像に戻ります。

操作を行う前に

カメラ側の白黒切換機能の設定がAUTOに設定されている場合、操作できません。本機で切り換えるときはカメラの設定を変更してください。

●カメラクリーニング

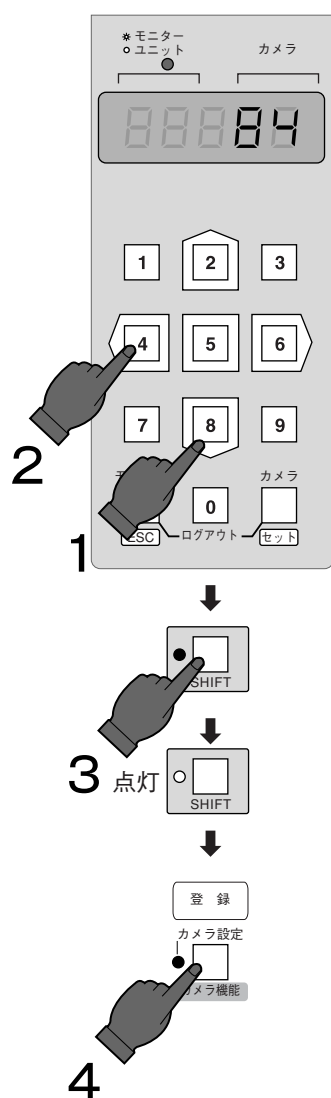
シーケンスやプリセット操作時など、プリセットポジションがずれているときは、カメラクリーニングを行ってください。カメラクリーニングは本機のセットアップメニューから実行できます。

セットアップメニューを表示するには管理者のパスワードが必要です。詳しくは35～39ページをお読みください。

●カメラ機能を実行する

コンビネーションカメラには、本機からカメラの機能（カメラ機能）を番号で呼び出して操作できる機種があります。ここではカメラ機能の基本的な実行方法について説明します。詳しくはお使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。以下はカメラ機能の一例です。

- スーパーダイナミック II ON (84) / OFF (85)
- 電子シャッター (SHUTTER) ON (171) / OFF (172)、電子シャッター速度の調節 増加 (173) / 減少 (174)
- AGC (Auto Gain Control) ON (175) / OFF (176)
- 電子感度アップ (電子感度アップ) ON (177) / OFF (178)、電子感度の調節 増加 (179) / 減少 (180)
- カメラリスタート (100)



1 コンビネーションカメラを選択する。

2 カメラ機能番号をテンキーで入力する。

例えば、スーパーダイナミック II ONが84番に割り当てられている場合、**8** **4** と入力します。

3 **SHIFT** を設定後、**カメラ機能** を押す。

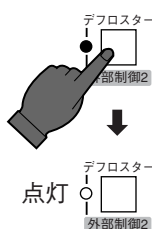
入力した番号に対応したカメラ機能が動作します。

カメラハウジング、外部機器を操作する


カメラハウジングを操作する

●デフロスターの操作


デフロスター付きのカメラハウジングが接続されているときに操作できます。



1 システム機器、モニター選択後、カメラを選択する。


2  を押す。

ボタン左側の表示灯が点灯し、デフロスターが動作します。

3 デフロスターをOFFにするときは再度  を押す。

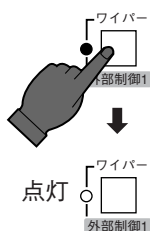
デフロスターがOFFになるとボタンの左側にある表示灯が消灯します。

操作を行う前に


 の設定は解除してください。

●ワイパーの操作


ワイパー付きのカメラハウジングが接続されているときに操作できます。



1 システム機器、モニター選択後、カメラを選択する。


2  を押す。

ボタン左側の表示灯が点灯し、ワイパーが動作します。

3 ワイパーをOFFにするときは再度  を押す。

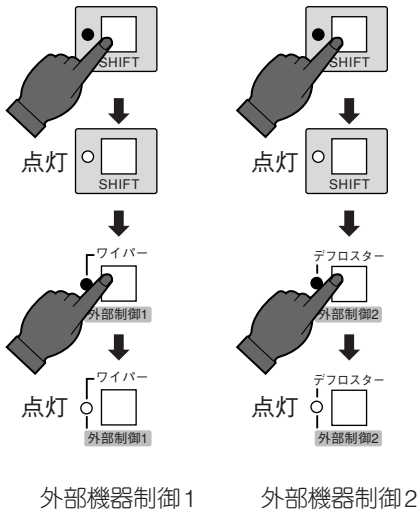
ワイパーがOFFになるとボタンの左側にある表示灯が消灯します。

操作を行う前に

 の設定は解除してください。

外部機器を操作する

システム機器にレシーバーなどの外部制御機器が接続されているときに操作できます。



1
2

外部制御機器が接続されているシステム機器、モニター、カメラを選択する。

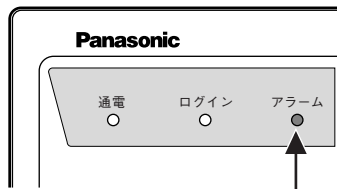
SHIFT を設定後、ワイパー または デフロスター を押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯し、割り当てられている外部機器が動作します。

外部機器の動作を終了するときは SHIFT を設定後、ワイパー または デフロスター を押します。

アラームを操作する

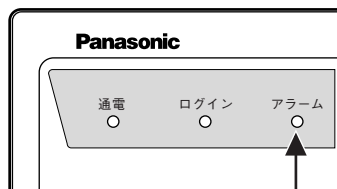
アラーム発生時の動作



アラームが通知されると、点滅する。



アラームが通知されるとカメラ番号表示欄の表示が「---」になる。



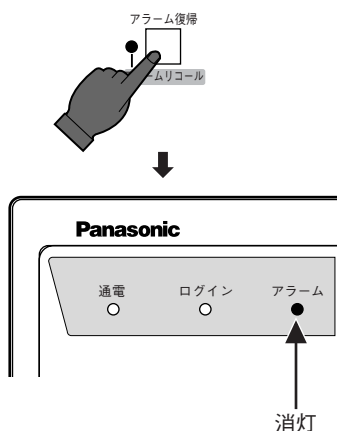
アラーム自動復帰すると、点灯に変わる。

システム機器やカメラにアラーム信号が入力されると、本機にアラームが発生したことが通知され、アラーム表示が点滅します。また、ディスプレイのカメラ番号表示欄の表示が「---」に変わります。

アラームが自動的に解除（自動復帰）されるとアラーム表示が点滅から点灯に換わります。

アラームを解除する

ここでは、アラーム（アラーム表示点滅）やアラーム自動復帰の状態（アラーム表示点灯）の解除方法について説明します。



1 アラーム復帰
アラームリコール を押す。

アラームが解除され、^{アラーム}が消灯します。アラームが解除されたときの動作は接続されているシステム機器によって異なります。詳しくはお使いになるシステム機器の取扱説明書をお読みください。

なお、この操作を行うと全てのシステム機器のアラーム（自動復帰を含む）を解除します。アラームを個別に解除することはできません。

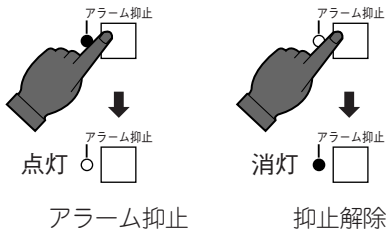
操作を行う前に



の設定は解除してください。


アラームを抑止する

アラーム入力を抑止する機能のあるシステム機器が接続されているときに操作できます。
システム機器や本機のセットアップ中などアラームを無視したいときに使用します。



1

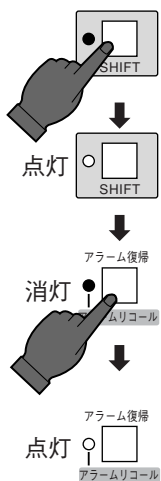
アラーム抑止
● □ を押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯し、アラーム抑止が設定されます。以後発生したアラームは無視されます。アラームの抑止を解除するときは再度  を押します。

なお、この操作を行うと全てのシステム機器のアラーム（自動復帰を含む）を抑止します。アラーム抑止を個別に設定することはできません。

アラーム履歴を確認する



アラーム履歴表示機能のあるシステム機器が接続されているときに操作できます。
過去に発生した履歴を確認したいときに操作します。





1

システム機器、モニターを選択する。

2

 を設定後、 を押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯し、モニターにアラーム履歴が表示されます。元の映像に戻すときは再度  を設定後、 を押します。

セットアップのしかた

本機はシステム環境に合わせて以下のセットアップができます。

- 本機のセットアップ
- PS・Dataモード対応のシステム機器のセットアップ
- システムカメラ、コンビネーションカメラのセットアップ

なお、本機のセットアップを行うには動作モードを変更した後、管理者用のパスワードでログインする必要があります。

本機のセットアップ手順

セットアップは以下の手順で行ってください。

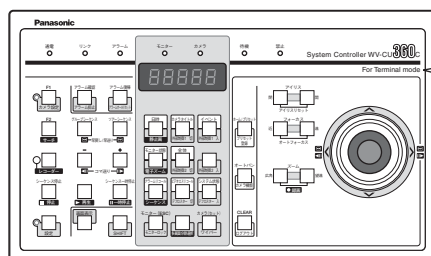
- 1 前面のテンプレートを確認する。
- 2 MODEスイッチを設定する。
RS485通信の終端ON/OFFと動作モードを設定します（33ページ）。
- 3 コントローラー番号を設定する。
本機を複数台ディジーチェーン接続して使用するときに設定します（34ページ）。
- 4 本機をセットアップする。
システム機器との通信設定やパスワードなどを設定します（35～39ページ）。

システム機器やカメラのセットアップもできます

本機のセットアップ完了後、本機からシステム機器やカメラのセットアップメニューを呼び出してセットアップすることができます。詳しくは40～43ページをお読みください。

テンプレートを確認する

PS・Dataモードで使用する場合、出荷時に装着されているテンプレートをそのまま使用してください。ターミナルモードで使用する場合は、装着されているPS・Data用のテンプレートを取り外し、付属のターミナルモード用のテンプレートを取り付けてください。



「For Terminal mode」
と表記されています。

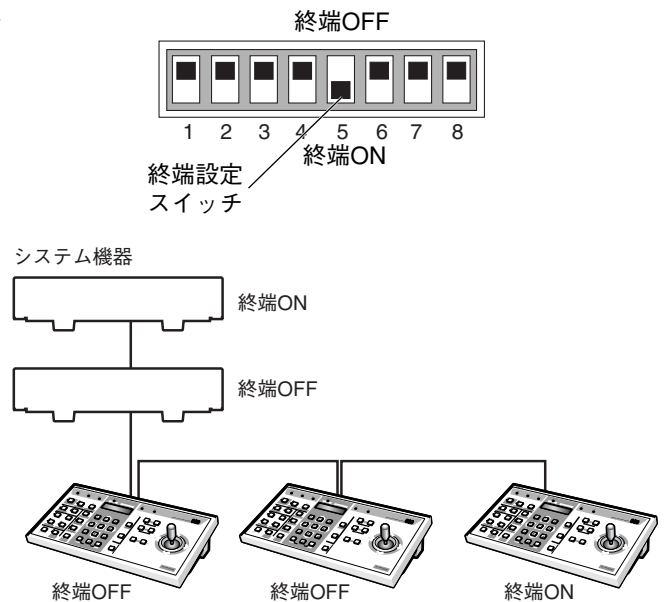
MODEスイッチを設定する

MODEスイッチで以下の内容を設定します。ACアダプターを抜いてから設定してください。

● 終端ON / OFFを設定する

本機とシステム機器との通信はRS485インターフェースで行われています。RS485インターフェースで接続されている機器の両端は終端抵抗で終端する必要があります。

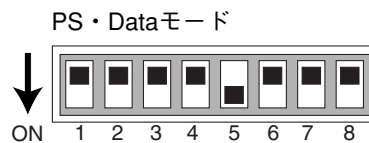
- 本機1台でシステム機器を操作する場合は、本機の終端設定スイッチをONに設定し、終端します。
- 本機を複数台ディジーチェーン接続で使用する場合は、最端となるコントローラーのみ終端設定スイッチをONにします。



● 動作モードを設定する

● PS・Dataモードに設定する

後面のMODEスイッチを右の図のように設定してください。



● ターミナルモードに設定する

後面のMODEスイッチを右の図のように設定してください。



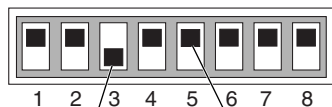
5番ビットのスイッチは

5番ビットのスイッチは「終端ON / OFFを設定する」をお読みにになり設定してください。

セットアップのしかた

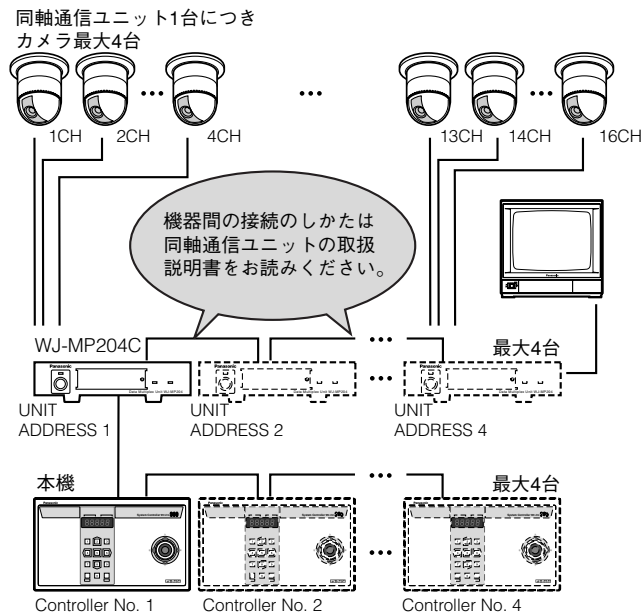
●システム機器として同軸通信ユニットだけ使用する場合

右図に示すようなシステム構成で使用する場合、モードスイッチを下図のように設定することによって、直接カメラを選択することができます。詳しくは、46ページをお読みください。



終端ON/OFF
(33ページをお読みください)

同軸通信ユニットだけ使用する場合、
下にする。



コントローラー番号を設定する

●PS・Dataモードの場合

本機を複数台ディジーチェーン接続して使用するときに設定します。コントローラー番号は他のシステムコントローラーと重複しないように設定してください。本機は1システム中に4台まで接続できます。本機1台でシステム機器を操作するときはお買い上げ時の状態「1」のまま使用してください。
<設定可能範囲> 1~8

「0」と「9」は予備の番号のため、使用できません。

●ターミナルモードの場合

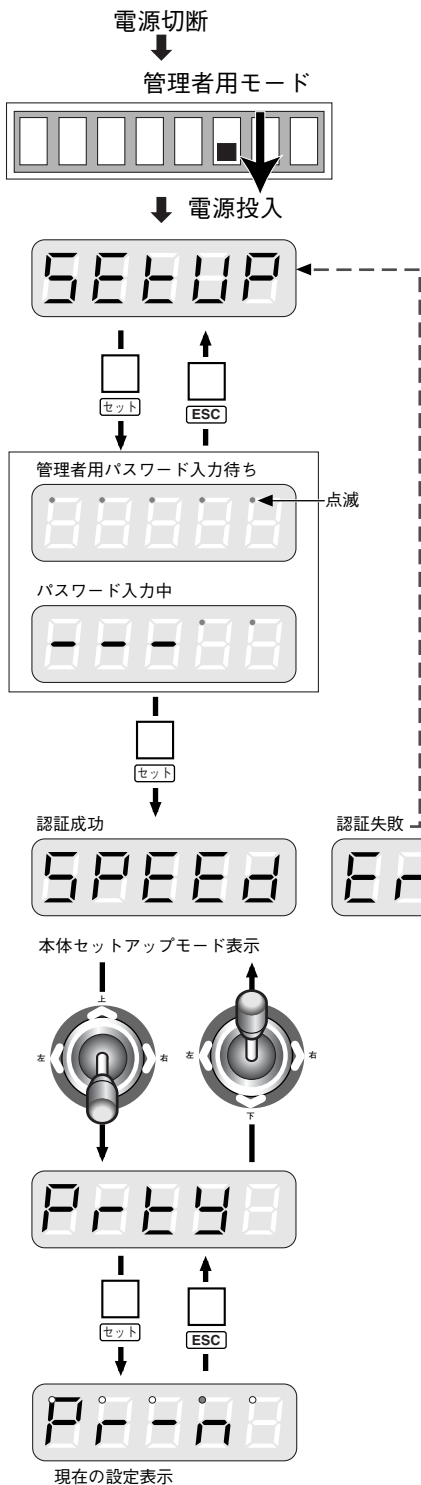
お買い上げ時の状態「1」のまま使用してください。



CONTROLLER No.

本機のセットアップメニューを表示・設定する

●基本操作



1

ACアダプターを電源コンセントから抜く。

2

MODEスイッチで動作モードを管理者用モードに設定する。
6番ビットを下にします。

3

ACアダプターを電源コンセントに差し込む。

通電表示が点灯し、ディスプレイに“SETUP (SETUP)”と表示されます。

4

カメラ を押してから、管理者用パスワードを入力する。
セット

お買い上げ時は「12345」に設定されています。
正しいパスワードを入力するとセットアップメニューに入り、ディスプレイに“SPEED (SPEED)”と表示されます。
パスワードを間違えると“Error”と表示された後、“SETUP”という表示に戻ります。

5

ジョイスティックを上または下に動かし、セットアップ項目を選択する。

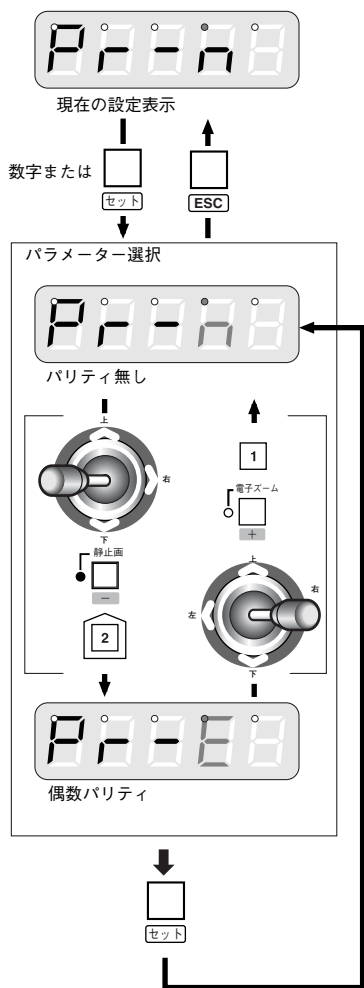
セットアップ項目の一覧は37ページをお読みください。

6

設定項目を選択後、カメラ を押して確定する。
セット

現在の設定内容が表示されます。
設定項目の選択に戻るときはモニター を押します。
ESC

セットアップのしかた



7

現在の設定内容を確認後、変更の必要があるときは を押す。

数字を先に入力する項目もあります。セットアップの詳細は38, 39ページをお読みください。

8

パラメーターを選択する。

パラメーターの選択方法は次の3とおりの方法があります。

- ジョイスティックを左右に動かして選択する。
- または を押して選択する。
- テンキーで数字を入力して選択する。(左図の例では を押すとパリティ無し、 を押すと偶数パリティを選択できます。)

9

パラメーター選択後、 を押して確定する。

設定内容がディスプレイに表示されます(このとき、設定内容が本機の内部メモリに書き込まれます)。

10

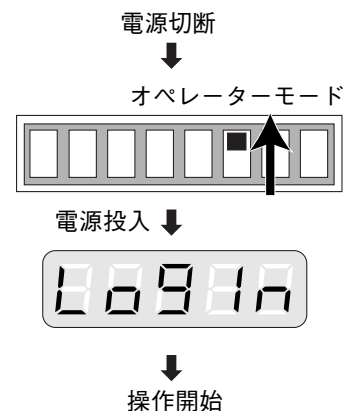
引き続き設定を行うときは、 を押してから手順5～9を繰り返す。

設定を終わるときは電源を切断後、動作モードをオペレーターモードに戻してください。

セットアップが完了したら

ACアダプターを抜いてから動作モードをオペレーターモードに変更してください。動作モードを変更したらACアダプターを電源コンセントに差し込み、動作確認を行ってください。

オペレーターモードに戻した後、必要ならばシステム機器やカメラのセットアップを行ってください。本機からシステム機器やカメラのセットアップメニューを呼び出すことができます。40～43ページをお読みください。



● セットアップ項目一覧

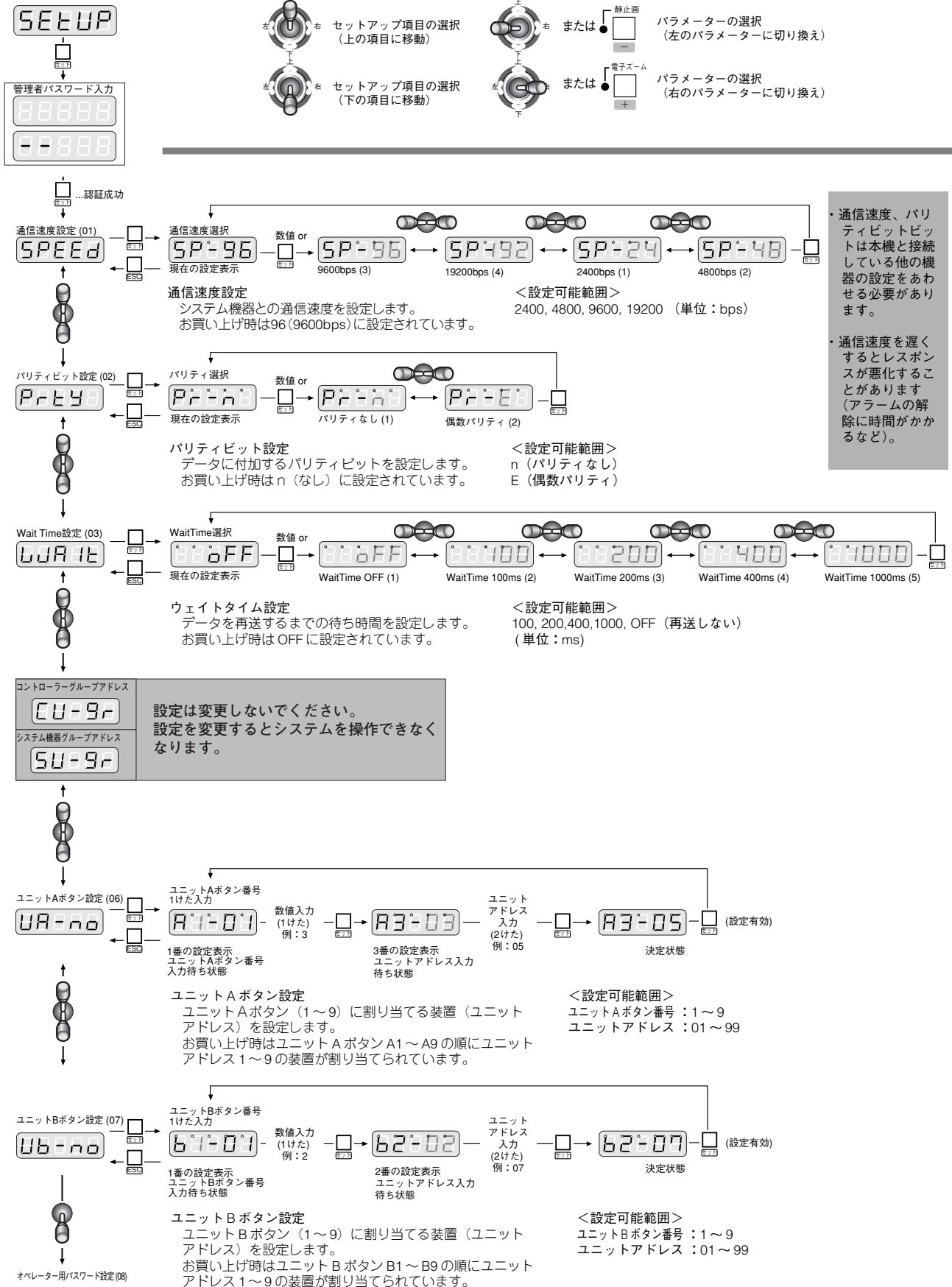
本機は次の項目を設定できます。各項目は本機のディスプレイに表示されます。

	SPEEd (Speed)	システム機器との通信速度を設定します。
	Prty (Parity)	パリティチェックのために付加するビット（パリティビット）の数を設定します。
	WAlt (Wait)	データの待ち時間を設定します。
	CU-gr (Controller Unit - Group)	これらのメニュー項目は使用しません。 誤って設定を変更するとシステムを操作できなくなります。
	SU-gr (System Unit - Group)	
	UA-no (Unit A - No.)	ユニットAボタンにシステム機器を割り当てます。
	Ub-no (Unit B - No.)	ユニットBボタンにシステム機器を割り当てます。
	UsrP (User Password)	オペレーター用のパスワードを変更します。
	SUSrP (Super user Password)	管理者用のパスワードを変更します。
	USr-C (User Certificate)	認証方式を設定します。
	CLEAn (Camera Cleaning)	コンピネーションカメラのカメラクリーニングを実行します。
	UtESt (Unit Test)	システム機器が正しく接続されているか通信テストを行います。システム構築後や変更後に行ってください。

※ターミナルモードでは「SPEED (speed)」と「Prty (Parity)」のみ表示・設定できます。

セットアップのしかた

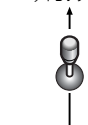
● セットアップする



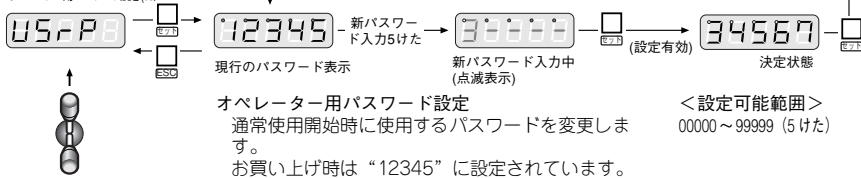
- 0 ~ 9 セットアップ項目やパラメーターの選択 (かっこ内の数字を入力)
- セッ 選択項目またはパラメーターの確定
- ESC 選択項目またはパラメーター変更の取り消し

お買い上げ時の状態に戻すにはACアダプターを電源コンセントから抜き、
 [2] [4] [6] を押しながら、再度ACアダプターを電源コンセントに差し込んでください。
 この操作を行うと、パスワードも初期化され、「12345」に戻ります。
 初期化後、パスワードの変更を忘れずに行ってください。

ユニットBボタン設定 (07)

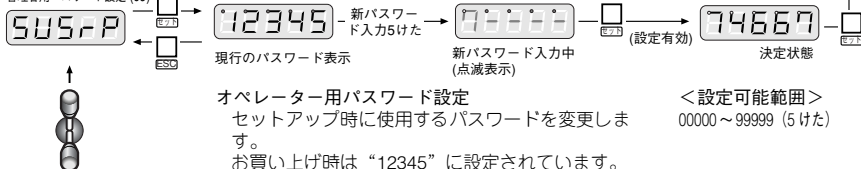


オペレーター用パスワード設定 (08)

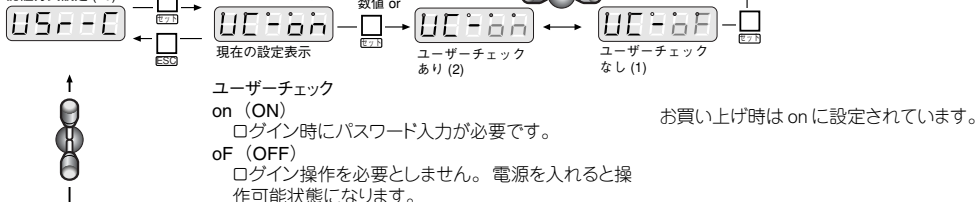


パスワードについての注意
 お買い上げ時、オペレーター用、管理者用ともにパスワードは「12345」に設定されています。このパスワードは必ず変更してください。また、変更したパスワードは忘れないようにメモなどに記入し、保管してください。

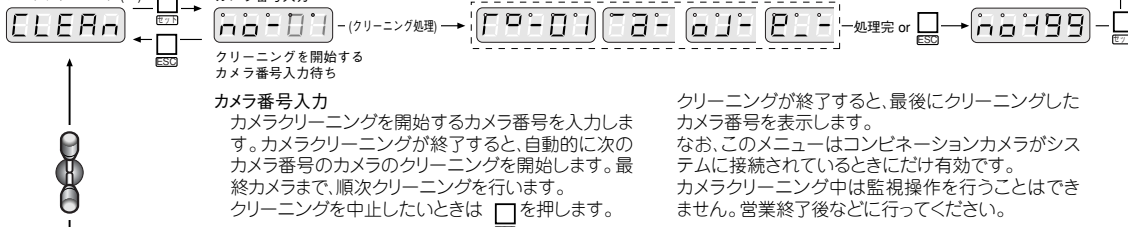
管理者用パスワード設定 (09)



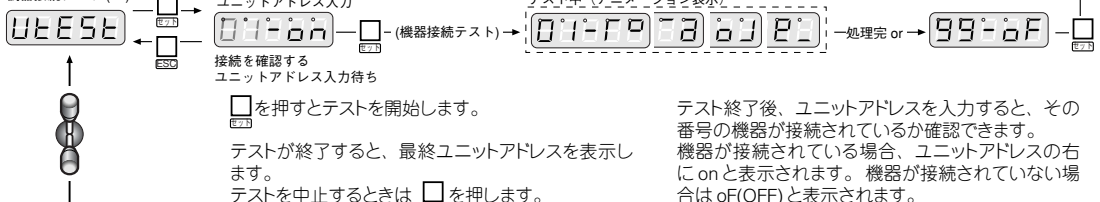
認証方式設定 (10)



カメラクリーニング (11)



機器接続テスト (12)

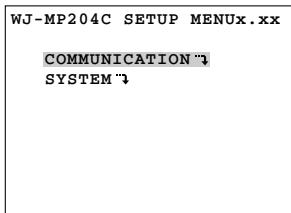
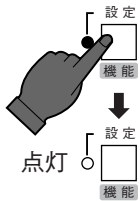


通信速度設定 (01)

テストが終了すると最終ユニットアドレスを表示します。

システム機器をセットアップする

本機からシステム機器のセットアップメニューをモニターに表示し、セットアップを行うことができます。システム機器のセットアップはオペレーターモードで行います。運用中、必要に応じて設定を変更できます。



WJ-MP204 セットアップメニュー表示例

1

セットアップするシステム機器を選択する。

2

セットアップできるのはPS・Dataモード対応の機器だけです。

設定機能ボタンを2秒以上押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯し、システム機器のセットアップメニューがモニターに表示されます。

セットアップのしかたはシステム機器の取扱説明書をお読みください。

注：通信速度やパリティビットなど、通信に関する設定は通信を行う機器間で同じ値を設定する必要があります。本機と異なる値を設定すると本機から操作できなくなりますのでご注意ください。

3

設定を終了するときは設定機能ボタンを2秒以上押す。

ボタンの左側にある表示灯が消灯し、セットアップを開始する前の状態に戻ります。

システム機器のセットアップ時に使用するボタン

カーソル移動		
設定値の変更		
設定値の確定		カメラ
下層へ移動		モニター
上層へ移動		モニター

注 セットアップに使用するボタンは機器によって異なることがあります。セットアップする機器の取扱説明書を確認の上操作してください。

操作を行う前に



の設定は解除してください。

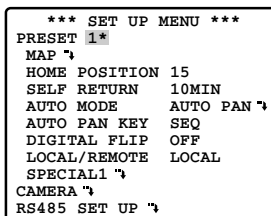
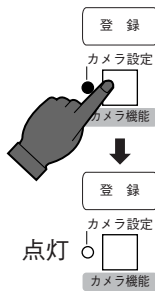
システム機器の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すには

各機器によって初期化の方法は異なります。初期化のしかたについてはお使いになる機器の取扱説明書をお読みください。

カメラをセットアップする

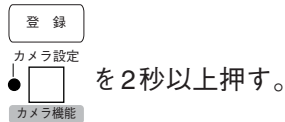
カメラのセットアップのしかた

本機からカメラのセットアップメニューをモニターに表示し、セットアップを行うことができます。カメラのセットアップはオペレーターモードで行います。運用中、必要に応じて設定を変更できます。




カメラセットアップメニュー表示例









1 セットアップするカメラを選択する。



ボタンの左側にある表示灯が点灯し、カメラのセットアップメニューがモニターに表示されます。セットアップするカメラの取扱説明書をお読みになりセットアップしてください。

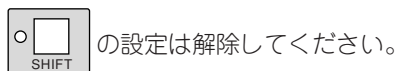
3 セットアップを終了するときは  を2秒以上押す。

カメラのセットアップ時に使用するボタン

カーソル移動		
設定値の変更		
設定値の確定		カメラ 
下層へ移動		セット 
上層へ移動		モニター 
		ESC 

注 セットアップに使用するボタンはカメラによって異なることがあります。セットアップするカメラの取扱説明書を確認の上操作してください。

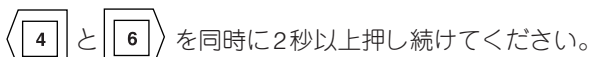
操作を行う前に



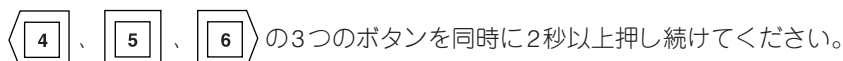
カメラの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すには


初めにカメラのスペシャルメニューを表示する必要があります。

スペシャルメニューを表示するときはカメラセットアップメニューの“SPECIAL*”にカーソルを移動後、



お買い上げ時の状態に戻すときは引き続き、スペシャルメニューの“CAMERA RESET*”にカーソルを移動後、



スペシャルメニューから前の画面に戻るときは  を押してください。

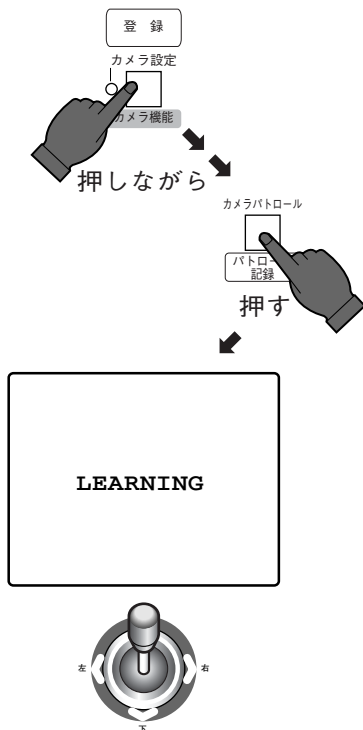
※ カメラによって操作方法やメニューの項目は異なります。カメラの取扱説明書をお読みください。

カメラをセットアップする

カメラパトロールの動作を記録する

カメラパトロールの動作はカメラのセットアップメニューで設定する方法と、カメラを操作中に設定する方法の2とおりがあります。

ここではカメラを操作中に設定する方法について説明します。この方法はカメラパトロール機能を持つコンビネーションカメラが選択されているときに使用できます。



操作内容がカメラに記憶される

- 1 システム機器、モニター選択後、コンビネーションカメラを選択する。
- 2 を押しながら を押す。
選択されているモニターに“LEARNING”と表示され、記憶開始状態になります。
- 3 ジョイスティックやボタンでコンビネーションカメラを操作する。
操作内容がカメラに記憶されます。最大記録時間は30秒です。
- 4 記憶を終了するときは を押しながら を押す。
終了すると“LEARNING”の表示が消えます。

記憶できる操作

次の操作をコンビネーションカメラに記憶させることができます。

- パン・チルト（ジョイスティック）
- アイリス（開／閉）
- フォーカス（遠／近）
- ズーム（広角／望遠）
- プリセットポジション

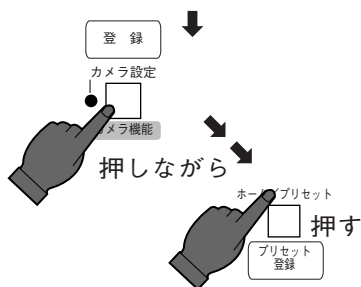
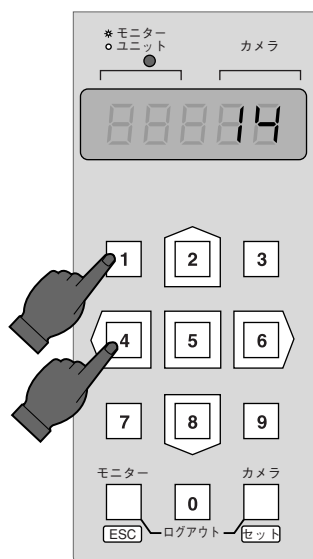
記憶させることができる操作はご使用になるカメラによって異なります。カメラの取扱説明書で記憶できる操作を確認の上、操作してください。

プリセットポジションを設定する

プリセットポジションはカメラのセットアップメニューで設定する方法と、カメラを操作中に設定する方法の2とおりがあります。

ここではカメラを操作中に設定する方法について説明します。この方法はカメラ機能の呼び出しに対応したコンビネーションカメラが、システムに接続されているときにだけ使用できます。



登録したい位置にカメラを旋回し、ズームやアイリスなどを調節する。



1 システム機器、モニター選択後、コンビネーションカメラを選択する。

2 ジョイスティックで登録したい位置にカメラを旋回し、ズームやアイリスなどを調節する。

3 テンキーで登録するプリセットポジションの番号を入力する。

4  を押しながら  を押す。

カメラの位置や調節内容が入力したプリセットポジション番号の情報としてコンビネーションカメラに登録されます。

既にプリセットポジションが登録されている番号を入力すると上書きされます。

プリセット情報として登録できる内容

次の操作をコンビネーションカメラにプリセット情報として記憶させることができます。

- パン・チルト（ジョイスティック）
- アイリス（開／閉）
- フォーカス（遠／近）
- ズーム（広角／望遠）

記憶させることができる情報はご使用になるカメラによって異なります。カメラの取扱説明書で記憶できる操作を確認の上、操作してください。

工事説明

⚠ **警告**、⚠ **注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

●直射日光の当たる場所には設置しないでください。

高温下での使用は避けてください。

●ていねいにお取り扱いください。

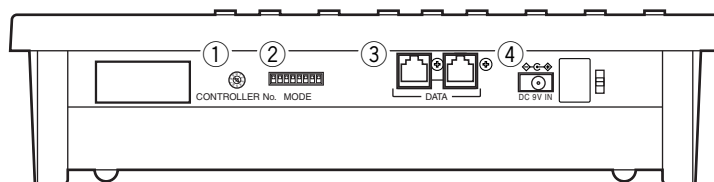
落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

●使用温度範囲をお守りください。

-10℃以下の寒いところや、+50℃以上の暑いところに設置しないでください。

●厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所には設置しないでください。

各部の名前と働き (後面)



①コントローラー番号設定スイッチ [CONTOROLLER NO.]

本機を複数台使用するときを設定します。通常、お買い上げ時の状態「1」のまま使用してください。詳しくは34ページをお読みください。

②モード設定スイッチ [MODE]

本機の設定内容を変更するときに使います。詳しくは33ページをお読みください。

③データ端子 [DATA]

本機とシステム機器を付属のモジュラーケーブルで接続するときに使います。本機を増設するときにも使用します。

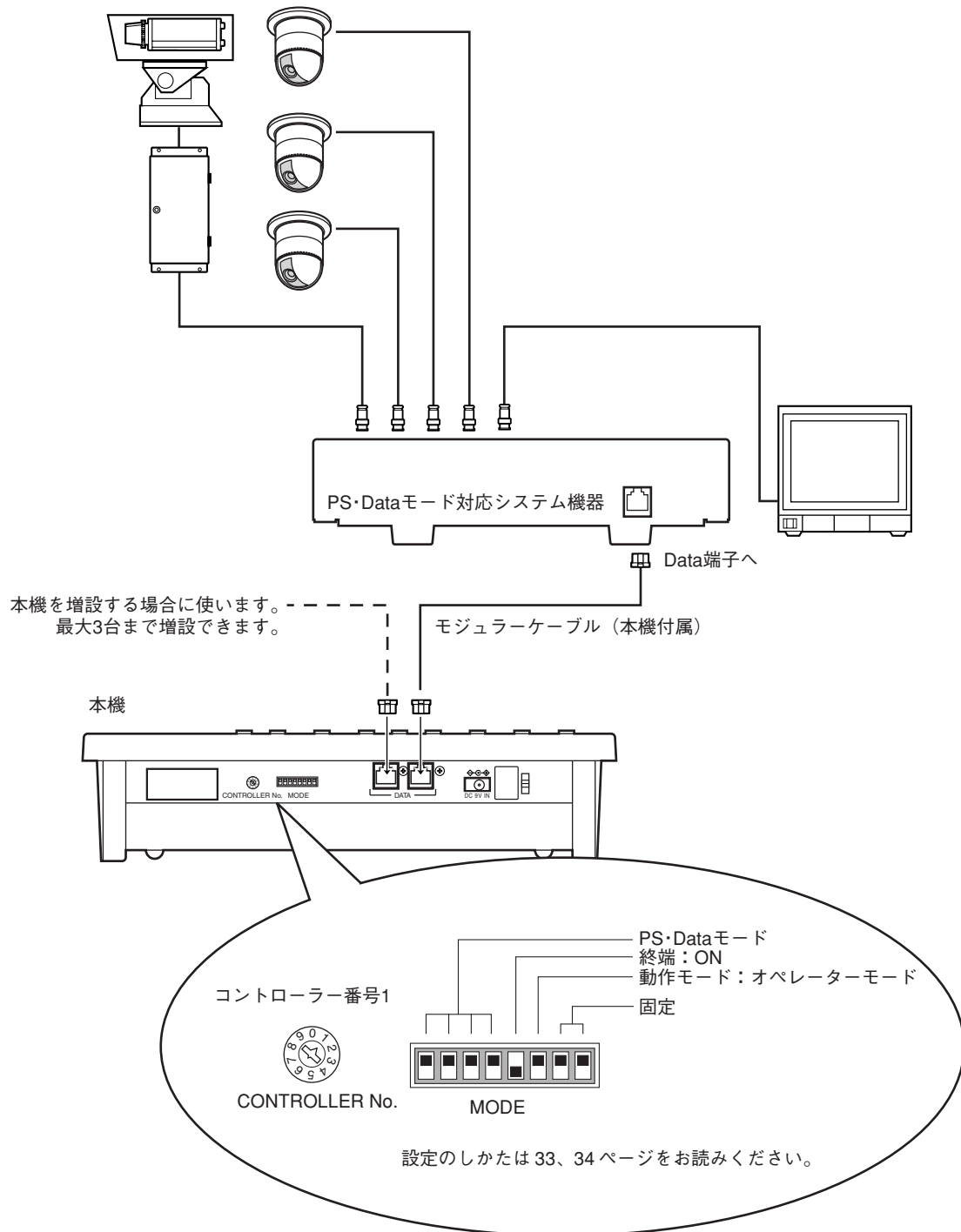
④電源入力端子 [DC 9V IN]

付属のACアダプターのDC9Vプラグを接続します。

接続のしかた

● PS・Dataモードの場合

下図のように接続してください。



● ターミナルモードの場合

接続するシステム機器の取扱説明書をお読みください。

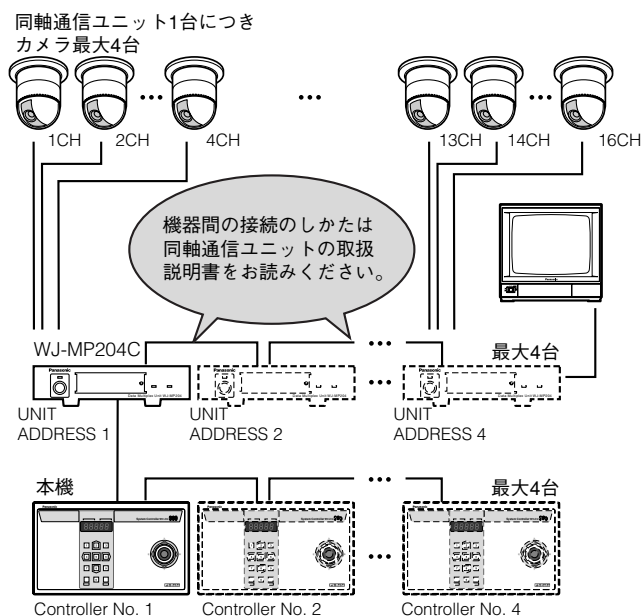
システム機器として同軸通信ユニットだけを使用する場合

通常、監視する場合、「①監視したい場所のカメラが接続されているシステム機器の選択」、「②監視したい場所にあるカメラの選択」の順番で操作します。しかし、次のシステム構成で使用している場合、操作したいカメラをダイレクトに指定して監視することができます。

システム構成

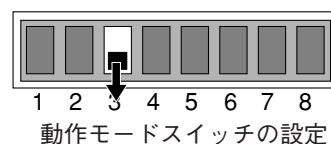
- コントローラー
システムコントローラー（WV-CU360C）（最大4台、最低1台必要）
- PS・Data対応システム機器※
同軸通信ユニット（WJ-MP204C）（最大4台）
- モニター（1台）、カメラ（最大16台）

※同軸通信ユニットに、カメラとシステムコントローラーが直接接続されている必要があります（右図参照）。



設定のしかた

- システムコントローラーの動作モードスイッチを設定する
ACアダプターを抜いてから、動作モードスイッチ（3番目）を右図のように設定してください。その後、ACアダプターを差し込んでください。



- 同軸通信ユニットを設定する
同軸通信ユニットはPS・Dataモードでご使用ください。PS・Dataモードをセットアップする際、CAMERA CONFIGメニューは、右表のように設定してください（同軸通信ユニットのユニットアドレスで、設定内容が決まります）。

CAMERA CONFIGメニューの設定	
ユニットアドレス	カメラ番号
1	CAMERA IN 1CHから順に 1,2,3,4
2	CAMERA IN 1CHから順に 5,6,7,8
3	CAMERA IN 1CHから順に 9,10,11,12
4	CAMERA IN 1CHから順に 13,14,15,16

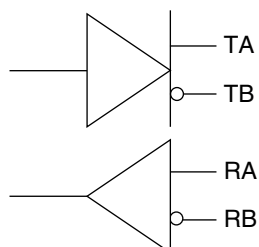
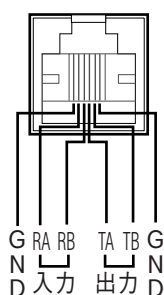
操作のしかた

カメラの選択は、操作したいカメラのカメラ番号を入力後、カメラ（セット）ボタンを押すだけで選択できます。カメラが接続されている同軸通信ユニット（システム機器）を選択する必要はありません。
例：12CHのカメラを選択する場合、テンキーで1、2と入力した後、カメラ（セット）ボタンを押すだけで選択できます（自動的に、ユニットアドレス3の同軸通信ユニットが選択されます）。

その他の操作のしかたについての相違はありません。

仕様

●データ端子の仕様



●定 格

電源	9 V DC 250 mA (付属のACアダプターを使用のこと)
ACアダプター (付属)	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz 5 VA
データ入出力	RS-485相当×2 (モジュラージャック)
コントローラー番号設定範囲	1～8 (ロータリーSW)
使用温度範囲	-10℃～+50℃
選択可能ユニット	1～99 (PS・Dataモード)
選択可能モニター	1～99 (PS・Dataモード)
選択可能カメラ	1～199 (PS・Dataモード)
外形寸法	幅 300 mm 高さ 74 mm 奥行き 177 mm
質量	約1.3kg (ACアダプターを除く)
仕上げ	AVアイボリー色 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

索引

<英字>

CLEAn	39
ESC ボタン	11
Login	13
MODE スイッチを設定する	33
Prty	38
SHIFT ボタン	8
SPEEd	38
SUSrp	39
UA - no	38
UB - no	38
USr - C	39
USrP	39
UtEst	39
Wait Time 設定	38

<あ行>

アイリスの調節	22
アイリスボタン	9
アラーム発生時の動作	30
アラーム表示	7
アラーム復帰ボタン	8
アラーム抑止ボタン	8
アラームリコールボタン	8
アラーム履歴を確認する	31
アラームを解除する	30
アラームを抑止する	31
安全上のご注意	3
ウェイトタイム設定	38
オートパン	25
オペレーターモードに設定する	33
オペレーター用パスワード設定	39

<か行>

外部機器を操作する	29
外部制御1ボタン	11
外部制御2ボタン	11
各部の名前と働き	7, 44
カメラ機能を実行する	27
カメラクリーニング	26, 39
カメラハウジングを操作する	28
カメラパトロール機能の操作	25
カメラパトロール (記録)	42
カメラ番号表示	7
カメラボタン	11
カメラをセットアップする	41
カメラを選択する	17
カメラを操作する	22
画面を分割する	18

管理者用モードに設定する	33
管理者用パスワード設定	39
機能概要	2
機能ボタン	8
禁止表示	7
コントローラー番号設定スイッチ	44
コントローラー番号を設定する	34
コンビネーションカメラ	24

<さ行>

シーケンス一時停止ボタン	10
シーケンスボタン	10
シーケンスを実行する	20
システム機器をセットアップする	40
システム機器を選択する	14
システム機能を実行する	21
終端	33
ジョイスティック	9
商品概要	2
白黒映像に切り換える	26
白黒切換ボタン	11
ズームの調節	23
ズームボタン	9
静止画にする	18
静止画ボタン	10
接続機器テスト	39
接続のしかた	45
設定ボタン	8
セットアップ項目一覧	37
セットアップのしかた	32
セットアップメニューを表示	35
セットボタン	11
操作上のお願い	6
操作を開始する	13
操作を終了する	13

<た行>

待機表示	7
多画面分割選択	10
ターミナルモード	6
通信速度設定	38
通電表示	7
定格	47
低速パンチルトボタン	10
データ端子	44
データ端子の仕様	47
デフロスターの操作	28
デフロスターボタン	11
テンキー	11

電源入力端子	44
電子ズームボタン	10, 19
動作モードを設定する	33

<な行>

認証方式設定	39
--------	----

<は行>

パトロール停止ボタン	10
パリティビット設定	38
パン・チルトの操作	22
ビデオ/カメラ映像切換ボタン	10
ビデオの再生画を表示する	20
ピントの調節	23
フォーカスの調節	23
フォーカスボタン	9
付属品	2
＋ボタン	10, 17
プリセットポジション	9, 24
プリセットポジション (設定)	43
ホームポジション	11, 24

<ま行>

－ボタン	10, 17
モード設定スイッチ	44
モニター番号の確認	16
モニター番号表示	7
モニターボタン	11
モニターを選択する	16

<や行>

ユーザー認証を行う	13
ユニットAボタン	9
ユニットAボタン設定	38
ユニットBボタン	9
ユニットBボタン設定	38
ユニットアドレス	14
ユニットアドレスの確認	14
ユニット番号表示	7

<ら行>

ログアウト	13
ログイン	13
ログイン表示	7

<わ行>

ワイパーの操作	28
ワイパーボタン	11

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このシステムコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	システムコントローラー
品番	WV-CU360C
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-CU360C
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410